

とわだ 子ども 議会

20人の子ども議員が 議会を模擬体験

12月25日、市議会議場で、十和田市初となる「平成25年度とわだ子ども議会」が開催された。

議員に立候補、当選したのは市内の小学6年生20人。子ども議員は、身近な地域の課題や市の活性化策などを堂々と質問した。

「おはようございます」元気な声が市議会議場に響き渡る。市内小学校から立候補してきた20人の「子ども議員」は、少し緊張した面持ちを見せながら議席に着席、子ども議会に挑んだ。

「とわだ子ども議会」は、議会を模擬体験することで、子どもたちに議会や行政の仕組みを知ってもらい、質問を通して自分たちが住む十和田市について考え、郷土を愛する心を育むことを目的に開催された。

開会に先立ち、小山田市長は「皆さんから見た十和田市への意見を聞いて、今後の行政の参考にしたい。自信を持って大きな声で質問してください」と、子ども議員を激励。開会を告げるベルが鳴り、1番畑山彩華さん（下切田小）から20番斗沢空慎くん（藤坂小）まで、20人の

議員は次々と登壇、はきはきと大きな声で質問を行った。議員からの意見や提案に対しては、市長や米田教育長が一つ一つ丁寧に答えた。

約2時間の議会体験、議事が全て終わると一様にほっとした表情を見せ、笑顔が浮かべながら互いに感想を話し合う様子が見られた。1番議員として、最初に質問を行った畑山さんは「緊張したけど、練習よりうまくできたと思います。質問を通して市長さんと対話することができてよかったです」と、笑顔を見せた。



▲子ども議員を代表し、市長から当選証書を受け取る畑山さん

他の議員の発言に真摯に耳を傾ける

手を挙げ、議長からの指名を待つ



当選証書を手にする子ども議員の皆さん



12番

橋端 奎達くん（沢田小）

質問 市を農業で誇れるまちにするためには農家を増やすことが大切です。小中学生を対象に、農業の楽しさや農家が大切だということを学ぶ「十和田農業体験学習会」を開催してはどうでしょうか。



11番

中野渡 瑞葵さん（南小）

質問 市には事故が多発する道路が複数あります。交通事故の無い安全な市にするため、1人1人の心掛けはもちろんですが、特に事故が多い所に信号機を設置してはどうでしょうか。



10番

川村 巧くん（南小）

質問 みんなが仲間意識を感じて楽しく明るく過ごすために、同じ花の種を市民全員に配り、花が咲いたら各自で写真を撮り、花コンサートを開催、写真をいろいろな所に展示してはどうでしょうか。



9番

成田 昂規くん（南小）

質問 みんなが安全に暮らすことができ、事故やけが無く明るく生活するためには交通ルールなどを守っていくことが大切です。そのために、歩道がない道路に歩道を作ってはどうでしょうか。



16番

中野渡 玲さん（三本木小）

質問 活性化の一環として、市をもっときれいな場所にするため、現在使われていない中心商店街の建物などをボランティアで掃除する「とわだクリーンプロジェクト」を行ってはどうでしょうか。



15番

沼畑 駿弥くん（三本木小）

質問 十和田のまちをもっと他県の人に知ってもらうため、自分たちが知っている、見つけた、いいなどと思う場所を探す「十和田の隠れた観光スポット発見ウイーク」を行ってはどうでしょうか。



14番

山田 匡哉くん（三本木小）

質問 お年寄りや障害者が安心して暮らせるまちにするため、点字ブロックや音声信号機の数をもっと増やしてはどうでしょうか。そうすると介護もいらなくなり、介護する人も安心できると思います。



13番

太田 唯月くん（沢田小）

質問 より安全な市にするため、学区の安全の見直しとして、中心街の道路で危ない所が無いか調査したり、「事故0運動」を立ち上げ、市内小学校が順番に安全の呼び掛け運動を行ってはどうでしょうか。



4番

松橋 樹和さん（南小）

質問 市の良さをPRするため、官庁街通りに特産品を使った食品や工芸品の土産、市ならではのグッズを販売するお店をイベントや観光客が多く来る期間に設置してはどうでしょうか。



3番

板澤 七海さん（南小）

質問 1人1人が安全安心に暮らし、明るく活気あふれる市にするため、人々が交通事故など命の危険に遭わないように信号をもっと多く設置してはどうでしょうか。



2番

今泉 里菜さん（南小）

質問 きれいで心地よく生活できるまちにするため、市民みんながまちのごみ拾いなどの清掃活動を行い、市全体をきれいにする運動をしてはどうでしょうか。



1番

畑山 彩華さん（下切田小）

質問 市の小中高校生がいろいろな人と交流するため、市内のバスの路線や便をもっと増やし、子どもが美術館や図書館、体育センターなどへ、自分たちだけで自由に行けるようにしてはどうでしょうか。



20番

斗沢 空慎くん（藤坂小）

質問 短命県を改善するため、運動の一環として、各地区の子ども会に歩いて行くシールがもらえる、名付けて「ATB」歩いて（A）、短命（T）、防止作戦（B）を行ってはどうでしょうか。



19番

川嶋 優希さん（三本木小）

質問 休日に人が集まり、子どもからお年寄りまで楽しく過ごせるまちにするため、ミニ動物園や映画館、スケート場などたくさんの人が集まって楽しめるレジャー施設を造ってはどうでしょうか。



18番

工藤 彩心さん（三本木小）

質問 みんなが安全安心に過ごせるまちにするため、市内の交差点などで、周りが見えづらいところにカーブミラーを設置したら事故が減ると思いますが、どうでしょうか。



17番

成田 詩織さん（三本木小）

質問 子どもたちが楽しく学び、明るく過ごせるまちにするため、旧十和田市と旧十和田湖町の小学生が市内の施設を利用して勉強するなど触れ合いの場を持ってはどうでしょうか。



8番

布施 昂也くん（南小）

質問 事故やけがのない安全なまちにするため、人々が安心して歩道や歩道橋などの道を歩けるように、歩道などを歩く人と自転車などを漕ぐ人とで分け合いの場を持ってはどうでしょうか。



7番

佐々木 朝陽くん（南小）

質問 にぎやかな市にするため、閉店している商店街のお店のシャッターや天井などにプロの画家を招き、地域の人々と交流する地域参加型で絵を描いてもらってはどうでしょうか。



6番

平野 里也加さん（南小）

質問 市民みんなが市の歴史や文化を知り、残していこうと努力することが大切です。市の成り立ちや観光名所、文化などを内容とした「十和田検定」を行ってはどうでしょうか。



5番

坂本 美空さん（南小）

質問 「ありがとう」という言葉は、言った人も言われた人も気分が良くなります。何かしてもらったら「ありがとう」と言うのを身に付ける「ありがとう週間」を月に何回か行ってはどうでしょうか。